

会 議 録

会 議 名	令和2年度第5回米原市図書館協議会
開 催 日 時	令和3年2月27日（土）午前10時00分～午前11時30分
開 催 場 所	米原市民交流プラザ 研修室
出席者および欠席者	出席者：寺村和美委員、井上智子委員 伊藤めぐみ委員、膽吹英子委員、久保田吉則委員、 今中雅美委員、和田昌子委員、 山下秀一委員、清水冬子委員 事務局：山本教育長、上村部長 梶田館長、梶川館長、押谷主事、寺義主事、武山主事
議 題	報告事項 (1) 小学校図書館について (2) 図書館運営に関する状況報告について ・図書館の評価 ・選書 (3) 利用者アンケート集計結果について 協議事項 米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）案について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）策定の方向性は、事務局案のとおり進める。指摘された点については、含めるべきか検討する。
会 議 録	■会長挨拶 皆さんこんにちは。まず会議について、本日も集まりの委員の皆さんには、意見を言わない方が失礼ではないかというくらい感覚を持って臨んでもらえることを期待しています。本日も慎重審議をよろしくお願いいたします。 ■教育長挨拶 皆さんおはようございます。まだ非常に肌寒いですが、すっかり春めいてきました。しかし、昨日も市内でコロナウイルスの感染者が2名出ていて、気は許せない状況です。お互い3密を避けて、気をつけて議論に臨みましょう。本日は、今年度最後の図書館協議会です。2年間務めてもらった委員や、様々な事情により今回の会議をもって退任される方の締めくくりということで、御意見を賜りたいと思います。今、コミュニティースクールの推進事業で、各小中学校からプレゼンテーションをしてもらっています。「まいばら読

書の日」が始まるので、それに向けたリニューアルや取組を、すでに行っている学校もあります。また、3月8日に議会があり、予算の審議が行われます。学校図書館システムの導入や、蔵書冊数を増やすための予算を考えていますので、委員の皆さんにも理解してもらって、より子ども読書や「まいばら読書の日」の推進ができるようにお願いしたいです。前回の最後に少し触れましたが、サービス基本計画において指標のあり方について見直しをしました。私は、米原市として2館の運営の中で、図書館に来館すれば読書の意欲が増す雰囲気が味わってもらえるのではないかと思います。図書館に来館してもらえるような取組を展開して、その雰囲気を持ち帰ってもらうことで、各家庭で読書の推進が図れば良いという思いです。本日、A委員から学校図書館司書としての報告もあります。皆さんと共有していきたいと思います。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

■事務局

協議会の委員数が9人で本日の出席人数が9人、米原市立図書館条例施行規則第16条第2項の規定により過半数の出席を得て定足数に達しておりますので、会議は成立していることを報告します。米原市立図書館条例施行規則第16条の規定により、会長が議長になると定めているため、ここからは会長に進めていただきます。よろしくお願いいたします。

報告事項

(1) 小学校図書館について

■会長

報告事項に入ります。まず、小学校での取組についてA委員お願いします。

■A委員

資料に基づいて説明

■会長

A委員、限られた時間の中で貴重な発表をどうもありがとうございました。皆さん何か質問はありますか。

■副会長

学校図書館に司書が配置され、各学校で取り組んでいる中で、特にA委員は長浜市でも経験があるため、先頭に立って進めてくれています。なかなか図書館協議会での発表の機会はなく、司書だけの力では実現しません。会長が提案して、事務局が了承してくれたこ

とで、この場で報告をしてもらえたことがすごいと思いました。また、図書館協議会はとても良い雰囲気だと感じました。学校図書館の魅力は、子どもたちが、本に多く出会い、生活の中に本があることにつながっていくと改めて気づきました。

■事務局

参考になるポイントがいくつかありました。中学校などの図書委員会では貸出の仕事がありますが、その際、システムによるパソコンの入力関係は生徒でも行えますか。

■A委員

できると思います。最初は一緒に行ったり、教えたりしますが、長浜市は小学校5年生や小学校6年生でもできています。

■事務局

図書委員は割と人気があり、子どもたちが自主的に生徒会活動を行う上で、誰がどのような本を借りたのかが気になることもあるのではないかと思います。

■A委員

情報システムを全て網羅しているわけではないですが、子ども用のパスワードと大人用のパスワードがあって、子どもは貸出・返却・蔵書検索しか操作できないという線引きがあります。中学校ではどのような本を借りたのかわかることのできるシステムもありますが、図書館の利用者の秘密は話してはいけないという話を最初に先生からしてもらいます。返却の督促は、学校司書か先生がするなど考えられます。公共図書館のように完全に守ることはできませんが、守秘義務があるということを教育できるいい機会でもあると思います。

■B委員

非常に立派な活動をされていると感じました。学校図書館の在り方についての本を読んだ時に、公共図書館は親に連れられて来る子どもか、ヘビーユーザーの子どもしか来館がないとありました。やはり幼少時に学校図書館に行き、本を好きになってもらえるように、学校図書館司書を配置して、図書館が楽しい場所であると感じさせる働きをすることが大切です。米原市は教育委員会として学校図書館へどのように力を入れていくのですか。

■事務局

私が現場にいた約8年前は、多くの学校図書館は施錠されていましたが、徐々に学校が落ち着いてきて学校図書館が開館し、授業の

際にも使用されるようになってきました。また、2年前から学校司書の配置が始まったことで、学校図書館の入口から中身から変わりました。同時に、学校の先生方の意識が変化してきたという気もします。効果を出すことによって更なる広がりがあるのでこれからますます先生方の意識が変わると思います。

■B委員

是非とも力を入れていてもらいたいです。

■会長

C委員どうですか。

■C委員

教育長が言われたように、学校が荒れている中で学校図書館は開館できないということがありました。私は勉強をして、読書は読み解く力の基盤になり、子どもの成長には積み重ねが非常に重要であると学びました。先生方もこの認識を持ちながら、図書館を利用してもらいたいです。学校図書館は、何よりも蔵書冊数が少ないので、もっと蔵書を増やしてもらいたいです。どうしても予算の執行をするために、本は早めに購入しなければなりません、毎月出る雑誌系統などもあるので、購入の仕方も考えてもらいたいです。学校司書の配置によって、先生方は学校司書の仕事ぶりを見て、自分たちも勉強していこうと思うはずで、本校は全てシステムで管理していて、基本的にはほかの子にどのような本を借りているかなどを見られることはありません。私も一度貸出業務をしましたが、すごく簡単にできました。

■事務局

普通は教室で授業をするので、図書館も含めて教室以外で授業がうまく成立できる先生は指導力が高いと思います。図書館で本を活用した授業を組み立てることは難しく、先生方には高いハードルを乗り越えてもらわないと良い授業はできません。その辺りを理解して手助けしてもらえるとありがたいです。

報告事項

(2) 図書館運営に関する状況報告について

・図書館の評価

■会長

状況報告について事務局から説明をお願いします。

■事務局

口頭で説明

報告事項

(2) 図書館運営に関する状況報告について

・選書

■事務局

【米原市立図書館 資料収集方針】について説明

報告事項

(3) 利用者アンケート集計結果について

■会長

次に利用者アンケートの結果について事務局から説明をお願いします。

■事務局

【図書館利用者アンケート調査【令和2年度報告書】】に基づいて説明

■会長

何か質問はありますか。

「問11 今後の図書館サービスとして、力を入れるべきと思うものの全てに「○」を付けてください。」について前々回の会議で委員からも自習スペースについて入れてほしいという要望があり、10歳代など若い世代の数値も高いが、なぜ結果で説明されないのですか。

■事務局

米原市立図書館サービス基本計画の第2章2節で年代別に分析したものがあため、そちらで詳しく説明します。

■副会長

「CDやDVDの充実」がありますが、今どのようなものが多く借りられているのか教えてもらいたいです。

■事務局

最近CDで利用が多いのは、ジャズです。子どもはディズニー関係が多いです。また、毎年話題になったものなどは積極的に購入しているので、その辺りの利用が多いです。

協議事項

米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）案について

■会長

協議事項に入ります。順次説明をお願いします。

■事務局

【米原市立図書館サービス基本計画指標 目標値見直し】について説明

■会長

数値について御意見いかがでしょうか。ないようなので、続いて第1章、第2章の説明をお願いします。

■事務局

【第1章 計画の概要】、【第2章 第1次計画期間中の成果と課題】について説明

■会長

第1章と第2章については、前回の意見を基に修正されたものなので、これで完成とします。第3章、第4章の説明をお願いします。

■事務局

【第3章 図書館の目指す姿】、【第4章 具体的な取組】について説明

■会長

説明が終わりました。質問ならびに各項目について取組の提案などがありましたらお願いします。

郵送サービスのよう、前回の資料にあつて今回の資料にないものがあるのはなぜですか。

■事務局

前回はできるだけ多くの取組を挙げてみましたが、今回は図書館に来館してもらおうという方向性で整理しています。その中でも郵送サービスについては、ハンディキャップを持つ方が来館された際に、図書館職員がサポートするなどの配慮から始め、情報を収集しながら進めていきます。

■会長

図書館協議会の話がありますが、今回はA委員がいたので、私たちも学校図書館のことが分かりました。そのように、幅広く人材を登用して、意見を聞いてもらいたいです。

■副会長

先日、会長と一緒にルッチプラザの運営委員会に参加してきました。そこで、米原市にある保健センターが来年度からルッチプラザに米原市保健センターとして統括されると聞きました。つまり、10か月健診もルッチプラザで行われるということなので、ブックスタ

ートと、子どもが絵本と出会う取組の一つである「えほんのひろば」とのコラボレーションが行いやすくなると思います。そこで20ページ「ブックスタート」は「継続」になっていますが、「拡大」に変更してはいかがでしょうか。また、「イベントの開催」に「えほんのひろば」も入れてもらいたいです。21ページ「ブックトーク」に「小学校・中学校に出向き」とあるが、学校に限らず、10か月検診で母親に向けてブックトークをするという意味を込めて、「継続」から「拡大」に変更してもらいたいです。

■D委員

私が編み物を図書館や公民館で行っていたのを見ていたボランティアセンターの方から、0～3歳の子どもをもつ母親が孤立しないために、母親が集まる場があるため、そこで編み物を教えに来てほしいと頼まれました。その間小さい子どもを見てもらうのに、幼児向けの紙芝居を持って行ったら、ボランティアセンターの職員さんが公共図書館にこのような資料があるのかと驚いていました。副会長と、母親世代がこのような資料が公共図書館にあることを知らないのが問題であるのではないかと話していました。知られていれば、活用されると思います。

■副会長

「地域との連携」にも、「えほんのひろば」などが取り入れられたら良いと思います。小学1年生への図書館利用カードの配布方法は、学校に任せていますか。

■事務局

個人情報なので、1学期の成績と一緒に個別に保護者に渡しています。

■副会長

利用カードについて、学校司書が子ども向けに話すのも良いのではないかと思います。また、先程会長からも質問があったスペースの話が具体的な取組に入っていないように思います。21ページ「基本目標④市民と協働し、交流の場となる図書館を目指します」とあるので、イベントだけに限らず、場所の使い方を工夫できませんか。かたりべホールの中のベンチも本を読む雰囲気ではないし、近江図書館の中庭スペースが何年も気になっています。場所的に本の管理が難しいと思うので、借りた本だけ読めるようにするなど工夫してはいかがでしょうか。例えば、中庭には、とても良いロケーションが広がっており、可能であれば、活用することができたら良いと思

います。

■事務局

図書館の本は、図書館内で読まなければならないというイメージがあります。山東図書館はルッチプラザの共有スペースで、借りた本を読めることになっています。近江図書館もPRしながら取り組んでいきたいと思います。

■事務局

この米原市立図書館サービス基本計画は、来年度も継続して審議していくので、副会長が言われたことは、実際に行ってみるなど試行錯誤しながら、具体的な取組にどのように入れるか考えます。先程の健康センターの話も、時代の流れとともに変化した事柄を利用するべきであると言われるのは当然なので、検討します。

■会長

来館者を増やす取組について、提案などありましたらお願いします。また、「まいばら読書の日」についてもいかがでしょうか。

「まいばら読書の日」は定着しますか。

■事務局

校園長会では、既に周知済みです。子どもを持つ親世代から、徐々に広げていくのも良いのではないかと考えています。しおりのほかに、ポスターもできていますか。

■事務局

準備しています。広報まいばら4月号に掲載してもらえるように手配していますし、順次PRを進めていきます。

■会長

前回A委員が提案したような、読書感想文の募集などの「まいばら読書の日」の記念事業はするのですか。

■事務局

各学校の子どもに、更にPRできるようなポスターの原画募集などは、ひとつの方策として話は出ています。

■A委員

私は、標語の募集を提案しました。それだと気軽に応募できるのではないかと思います。

■D委員

「「まいばら読書の日」の取組」に5項目ありますが、その中に「地域お茶の間創造事業」の活動場所を入れてはどうですか。コロナ禍で行えなかったですが、取り組もうとした時に行きやすいです。

来ている人が、本を聞く側あるいは本を読む側になるような活動ができるの良いのではないかと思います。

■副会長

18ページ「高齢者の読書支援」に重なるところがありますね。

■D委員

ありますが、「まいばら読書の日」の取組でいかがでしょうか。検討してもらいたいです。

■C委員

コロナ禍で難しいと思いますが、米原市の取組として講演会を開催してもらいたいです。毎年講演会をしている高校に、聞きに行きました。小澤征爾氏の兄であるグリム童話作家の小澤俊夫氏の講演は、高校生に良い影響があると感じました。大人は子どもの成長を待てないから、一方的に焦って手を加えようとするけど、良くないというような話は、保護者の皆さんに聞いてもらいたいと思いました。コロナ禍が落ち着いてからはなりますが、よろしく願います。

■会長

ほかはいかがでしょうか。

■D委員

「高齢者の読書支援」に「読み聞かせボランティアのコーディネート支援」とありますが、意味が分かりにくいです。この部分は特に高齢者が理解しなければならないので、高齢者でも分かるように書いてもらいたいです。

■事務局

「施設の要望と、読み聞かせをしているボランティアをつなぐこと」ですので、表記を検討します。

■副会長

高齢者の読書支援なのに、会議でも高齢者施設に重点を置いてしまう傾向があります。「高齢者施設等」と書いていることで、「地域お茶の間創造事業」などの観点から考えにくくなっているのではないかと思います。「施設」を抜いて「高齢者への読み聞かせボランティア」などに変更してはいかがでしょうか。

■D委員

賛成です。私が子どもの頃の高校進学率は10%で、高校進学をした人の中の10%のみが大学進学をする時代でした。少し世代が変わると、学校教育の受け方が大きく変わります。子どもは年齢によっ

て大体同じ学力だが、高齢者は違います。そこを理解して高齢者への読み聞かせ自体を作っていくところから始めなければ、難しいと思います。

■事務局

「高齢者への読み聞かせ」と書くと、個人のイメージが付いてしまうので、「高齢者が集う場所等への読み聞かせ」など書き方を検討します。

■D委員

大きい声を出して本を読むことは、自分のためになると思って読み聞かせを行っています。聞く方は、真剣に聞いてくれる人や退屈そうにする人など様々な人がいます。

■事務局

D委員に、高齢者施設関係のボランティア活動の経験から発言してもらえてありがたいです。私も月1回地域のサロンに行きますが、集う場所に来る方は会話をしたいという方が多いです。そこに読書という促し方をしてもなかなか通じないため、どうしたら良いか悩みどころです。集う場所と家など個人の場所をうまく活用して、認知症予防にもつながるような活字に触れたり、読書で違う世界に触れたりするのを大切にしてもらいたいです。そのためのアプローチの仕方など、表現について検討していくべきと考えます。

■D委員

大活字本を借りて、認知症気味の方のところへ持って行ったら、一生懸命読んでくれました。出てくる言葉の意味が分からなかったら、質問してくるので、その人は、本を読む際に聞き役が必要です。このように、高齢者一人一人にそれぞれの読書の在り方があるのではないかと思います。

■副会長

「地域お茶の間創造事業」の活動場所で、本を読みましようと言っても全然効果はありません。参考事例ですが、個人では買えないような本やシルバー川柳、女性がたくさん集まる場所には料理の本などを準備して、テーブルに置いておきます。一度に人が集まるわけではないので、最初に来た人が、ほかの人を待っている間に本を手に取り、話のきっかけになったことがありました。

■会長

では、本日の会議の結果を踏まえて、改善してもらおうというかたちで終わってもよろしいでしょうか。私のこの席も本日で最後です。

	<p>ありがとうございました。事務局にお返しします。</p> <p>■事務局</p> <p>会長、会議の進行ありがとうございました。委員の皆さんにおかれましては、長時間慎重審議いただき、貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。それでは閉会に当たり、井上副会長から御挨拶を頂戴したいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>■副会長挨拶</p> <p>以前は、2年ごと3期の計6年間でしたが、米原市の付属機関の選任基準が変わり、今期で終了となる委員が今回は特に多いと先程聞きました。最初は、何も分からないまま図書館協議会委員を引き受けましたが、分かっていないからこそ調べたり考えたりして、発見や学びを多く経験させてもらいました。この委員をしていなければ、交流することがなかった仲間とも出会えて、ボランティアグループを立ち上げたりすることもできました。私の人生に、深みと広がりを増やしてもらえたことに感謝しています。この経験を、任期終了と同時にやめてしまうのではなく、様々な場面で、協力させてもらえればと思っています。ありがとうございました。これからもよろしく申し上げます。</p> <p>■事務局</p> <p>今回の図書館協議会の委員の任期は、令和3年3月31日までとなっています。委員の在任期間中には、図書館の運営に関する事項や、子ども読書活動推進計画、図書館サービス基本計画の策定に向けて審議いただくなど御協力ありがとうございました。今回で図書館協議会の委員を離れられる皆さんは、これから立場は変わりますが、本市の図書館運営等に関して、これからも今まで以上に御協力をお願いします。</p> <p>それでは以上をもちまして、第5回図書館協議会を閉会します。長時間ありがとうございました。</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 <u>傍聴者：0人</u></p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 (質問および発言者の委員名)</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input type="checkbox"/>開示</p> <p>■一部開示(根拠法令等：)</p>

	<input type="checkbox"/> 非 開 示 (根拠法令等 :)
全部記録の有無	会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
担 当 課	教育部 米原市立近江図書館 (外線 52-5246)